

解析学 II 解答例

2016.05.30

■ 次の問いに答えよ.

(1) 関数 $f: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}$ を $f(x) = |x|^2$ により定義するとき, $f(x)$ の微分可能性を調べよ.

(2) 関数 $f: \mathbb{C} \rightarrow \mathbb{C}$ を $f(z) = |z|^2$ により定義するとき, $f(z)$ の微分可能性を調べよ.

(解) (1) $f(x) = |x|^2 = x^2$ であるから, $f'(x) = 2x$ となり, $f(x)$ は各 $x \in \mathbb{R}$ に対して微分可能である.

(2) $f(z) = |z|^2 = z\bar{z}$ であるから,

$$\frac{f(z+h) - f(z)}{h} = \frac{(z+h)(\bar{z} + \bar{h}) - z\bar{z}}{h} = z \cdot \frac{\bar{h}}{h} + \bar{z} + \bar{h}$$

となるので,

$$\lim_{\substack{h \in \mathbb{R} \\ h \rightarrow 0}} \frac{f(z+h) - f(z)}{h} = \lim_{\substack{h \in \mathbb{R} \\ h \rightarrow 0}} \left(z \cdot \frac{h}{h} + \bar{z} + h \right) = z + \bar{z}$$

であり,

$$\lim_{\substack{h \in \mathbb{R} \\ h \rightarrow 0}} \frac{f(z+ih) - f(z)}{ih} = \lim_{\substack{h \in \mathbb{R} \\ h \rightarrow 0}} \left(z \cdot \frac{-ih}{ih} + \bar{z} - ih \right) = -z + \bar{z}$$

である. したがって, $z \neq 0$ のときには, $z + \bar{z} \neq -z + \bar{z}$ より $f(z)$ は微分できないが, $z = 0$ のときには, $f(z)$ は微分可能である. ■